

会議・打合せ等記録

市 長	副市長	教 育 長	教育次長	鹿 沼 場 長	栗 野 場 長	係 長	担 当

報告日：令和7年7月4日

名 称	令和7年度 第1回鹿沼市学校給食共同調理場運営協議会
日 時	令和7年7月4日（金） 午前10時00分～11時20分
場 所	学校給食共同調理場 2階 会議室
出 席 者	委 員：別紙出欠簿のとおり 事務局：平田場長、高橋栗野場長、小野口係長、鈴木担当主査、小林主査、星野栄養教諭、松島栄養教諭 ※市教委：中村教育長、佐藤教育次長は臨時議会のため急きょ欠席
内 容 及 び 結 果 等	1 開会 2 挨拶（津久井委員長、中村教育長不在のため挨拶は省略） 委員・職員自己紹介 3 議事 （1）協議事項 副委員長の選出について 事務局案により 副委員長：渡邊彩香委員に決定 （2）報告事項 ① 運営協議会について ② 学校給食の概要について ③ 食育への取り組みについて ④ 学校給食費の滞納対策について ⑤ 安全・安心への取り組みについて （3）その他 ① 運営協議会の開催予定 R8.2月頃 第2回運営協議会の予定。 ② その他 4 閉会 給食に関する動画視聴、試食品の配布 ○主な質疑等 質問) 献立作成委員会で原案を作成し、センター方式のところや親子方式のところ で独自性を生かしてやっていただいていると思うが、例えば豆腐などの食 材が学校によってちがうような気がする。予算等もあるかと思うが、調理場 ごとに独自で任せているということでしょうか。 回答) 食材の購入については、各調理場ごとに物資選定委員会を開催し、購入先を 決めている。予算もあるが、例えば豆腐は通常は地元の業者や給食会で購入 しているが、地場産物の使用週間などの時は例外的に県産のお豆腐を購入 することもある。ケースバイケースになるが、施設で検討しながら購入をし

会議・打合せ等記録

市 長	副市長	教 育 長	教育次長	鹿 沼 長	栗 野 長	係 長	担 当

	てもらっている。 質問) 学校によって冷凍の豆腐を常に使っているところと冷凍ではない豆腐を使っているところがあり、子どもによっては冷凍でないものの方がおいしいと感じているようだが、なぜ冷凍のものを年間通して使っているのか。 回答) 量の関係もある。冷蔵の豆腐については、規模が大きい施設だとパックを開ける回数が増えることでフィルム等の異物混入のリスクが上がってしまうということもある。限られた時間で安全なものを提供するというのを優先的に考えた時にどうしても冷凍豆腐での対応となる場合もある。 また、鹿沼市内の豆腐屋さんでは、給食用に納入時間や納入温度、衛生的な身支度の指定等の対応ができる業者が現在いない状況である。 量が多いセンター方式のところは難しい部分もあるが、栃木県給食会の方で栃木県産大豆を使った豆腐が9月頃から購入できる可能性がある。
	質問) 昔は各学校で作っていたと思うが、センターで大量に調理をするきっかけとなったのは何だったのか。小規模であれば地元の食材にこだわった給食やオーガニック給食ができるのではないかなと思う。センターで大量に調理をするからこそできないことが出てしまう。保護者としては食材の安全と衛生上の安全と両方が必要だと考える。調理をする人が少なくなっているという理由もあるのか。 回答) 地区調理場は市内6箇所あり、地域の良さを生かした調理場という形になる。調理員の数もあるが、ある程度の食数にした方が食材の購入や人件費が抑えられるというメリットもある。同じ地区であれば良さは残されていると思う。センターができたのが昭和43年頃からだと思われ、全国的にも進んだ可能性がある。 意見) できるだけ地元でとれたものを地産地消していただけると保護者としてはうれしい。
	質問) アレルギーで卵と乳を抜く対応を取ると説明のあった件で、対応食として栄養素の面で適用できるように替えられるものなのか。 回答) 卵と乳を両方抜いた場合、たんぱく質が不足してしまうため、別のたんぱく質で代替するような形をとっている。例えば乳の代わりに豆乳、卵の代わりにウインナーというような、改めての計算まではしていないが同じようにたんぱく質も取れるように対応している。
配布資料	令和7年度第1回鹿沼市学校給食共同調理場運営協議会資料
	委嘱状
次回予定	令和8年2月
記 録 者	小林
鹿沼市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条に基づく審議会等の公開状況	

会議・打合せ等記録

市 長	副市長	教 育 長	教育次長	鹿 沼 長	栗 野 長	係 長	担 当

(該当する審議会等以外の会議・打合せ等については記入不要)			
公開・非公開の別	公 開 ・ 非公開	(公開の場合) 傍聴人数	0 人